

ぎふ感染症かわら版



令和 8 年 7 月 16 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

夏休みに海外旅行をされる方は、感染症予防に心がけましょう！

海外では、日本にはない感染症や、国内より高い頻度で発生がみられる感染症が多く報告されています。安全な旅行ができるよう出発前から準備し、しっかりと感染予防対策を行いましょう。

渡航前の準備

● 情報収集

- ・ 渡航先でどのような感染症が流行しているか詳しく確認しましょう。

● 予防接種

- ・ 渡航先によっては渡航前の接種が推奨されているワクチンがあります。日にちに余裕をもって、最低でも出発の 1 ヶ月までに医師に相談しましょう。

参考となるサイト

- ◆ FORTH/厚生労働省検疫所
<http://www.forth.go.jp/>
- ◆ 外務省海外安全ホームページ
<https://www.anzen.mofa.go.jp/>



参考となるサイト

- ◆ 国立国際医療センター トラベルクリニック
「トラベラーズワクチン 予防接種を受けるにあたって」
<http://travelclinic.ncgm.go.jp/index.html>
https://travelclinic.jihs.go.jp/021/tv2025_jp.pdf

● 感染症予防のための持ち物

- ・ マスク、手指消毒用のアルコール剤、虫よけ剤などを準備しておきましょう。

旅行中に気を付けること

● 手洗いの励行

- ・ トイレの後、食事の前には石けんと流水で手を洗いましょう。
- ・ きれいな水が使えないときは、手洗い後にアルコール消毒をしましょう。

● 生水や生の食べ物に注意

- ・ 生水は避け、ボトル入りの水または炭酸飲料を飲みましょう。
- ・ 生魚、氷、カットフルーツ、サラダなどは避け、火の通ったものを食べましょう。

● 蚊やダニに刺されないよう対策を

- ・ 肌を出さないように服装に気をつけて、虫よけ剤を使いましょう。

● 動物にむやみに近づかない

- ・ 動物から人にうつる感染症があります。野生動物はもちろんのこと、飼われている犬や猫にも不用意に近づかないようにしましょう。



帰国後に体調が悪くなったら

- 帰国時に発熱や下痢などの症状がある方や、動物に咬まれたなど心配なことがある方は空港や港の検疫ブースに申し出ましょう。
- 帰国後に具合が悪くなった場合は、医療機関を受診し、渡航先や現地での行動を医師に伝えてください。





海外で気をつけたい主な感染症

飲み水・食べ物からうつる感染症



衛生状態の悪い地域では、水が様々な病原体に汚染されていることがあります。海外では、汚染した飲み水や食べ物を介して、下痢や発熱を主症状とする消化器系の感染症にかかるリスクが高いため、生水や未加熱の食品は避けることが重要です。

主な感染症	A型肝炎	E型肝炎	赤痢	腸チフス	コレラ
症 状	発熱、倦怠感、黄疸		発熱、下痢（時に血便）、激しい腹痛	発熱（持続する高熱）、下痢、倦怠感	下痢（大量の水様便）、嘔吐、下痢による脱水
予防接種の有無	○	—	—	○	—
主な発生地域	世界各地（特に、水道設備が整っていない地域）				

蚊が媒介する感染症



熱帯・亜熱帯地域では、蚊が媒介する感染症が流行しています。特に、インドネシア、フィリピン、タイなど東南アジアを旅行してデング熱に感染する人が多くなっています。

長袖・長ズボンの着用や虫よけ剤の使用で、蚊に刺されないようにしましょう。

主な感染症	マラリア	デング熱	チクングニア熱	黄熱
症 状	発熱（高熱、周期的）、下痢、悪寒、冷汗、頭痛、筋肉痛、意識障害	発熱（高熱）、目の奥の痛み、筋肉痛、関節痛、発疹	発熱（高熱）、頭痛、筋肉痛、倦怠感、発疹、関節痛	発熱（高熱）、頭痛、筋肉痛、悪寒、嘔吐
予防接種の有無	予防薬（飲み薬）	—	—	○
主な発生地域	熱帯、亜熱帯地域（アジア、アフリカ、中南米）	熱帯、亜熱帯地域（アジア、オセアニア、アフリカ、中南米、中東）	東南アジア、南アジア、アフリカ、中南米	アフリカ、中南米

動物からうつる感染症



日本以外の世界中のほとんどの地域で狂犬病が発生しています。その他にも動物から感染する様々な感染症があるため、動物との不用意な接触は避けてください。

主な感染症	狂 犬 病	鳥インフルエンザ	MERS
感染源となる動物	イヌ、ネコ、コウモリなど	鳥類	ヒトコブラクダ
症 状	発熱、治癒した受傷部の痛み、知覚過敏、恐水・恐風症状	発熱、呼吸器症状、時に下痢	発熱、呼吸器症状、時に下痢
予防接種の有無	○	—	—
主な発生地域	世界各地（特にアジア、アフリカ）	アジア、アフリカ	中東

人からうつる感染症



世界各地で、感染力の強い麻しんや風しんが流行しています。必要に応じて渡航前のワクチン接種を検討するとともに、咳や発熱、発疹などの症状がある人との接触は避けましょう。

主な感染症	麻しん	風しん	ポリオ	エムボックス
症 状	発熱（高熱）、下痢、咳、鼻水、結膜充血、発疹	発熱、発疹、リンパ節腫脹	発熱、下痢、麻痺	発熱、発疹、頭痛、リンパ節腫脹
予防接種の有無	○	○	○	—
主な発生地域	世界各地（特にアジア、アフリカ、欧州）	世界各地（特にアジア、アフリカ）	中東、アフリカなど	世界各地



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。
くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

